

第3学年B組 英語科学習指導案

日時 令和4年7月4日(月) 5校時
場所 英語教室
指導者 武藤 しのぶ
Megan Shipton

1 単元名 Unit 3 Animals on the Red List

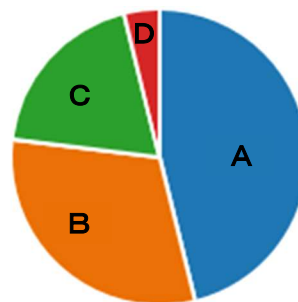
2 単元の目標

- (1) 〈 It is …+(for 人など) + to 〉の文、〈 want + (人など) + to 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。
〈 It is …+(for 人など) + to 〉の文、〈 want + (人など) + to 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の理解をもとに、自分やほかの人・ものなどにとって大切なことや、誰かにしてほしいことについて伝え合う技能を身に付ける。(知識・技能)
- (2) 環境問題と私たちの生活について考えるために、絶滅の恐れのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、現状について調べた情報を適切に整理・活用して、自分の考えを書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 環境問題と私たちの生活について考えるために絶滅の恐れのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、現状や自分の考えを書いたりしたことを相手に伝えようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 生徒と単元

(1) 生徒について

全体的に前向きに学習に取り組むことができる生徒たちであり、他者とかかわることを楽しみながら学習に臨んでいる。英語に関する意識を調査するアンケートを実施したところ、英語を「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた割合の合計が、77%であった。内容が楽しい、将来役に立つ、考えるのが楽しいと考えていることから、教科書の内容に興味をもち、それについて自分なりの考えを深めたり、英語で表現したりすることに前向きであることが分かる。一方、自分の考えを正しく書くことについてうまく表現できないなど苦手意識をもっている生徒もいる。



A	好き	12
B	どちらかといえば好き	8
C	どちらかといえば好きではない	5
D	好きではない	1

(2) 単元について

本単元では、世界の絶滅の恐れのある動物(絶滅危惧種)について扱っている。本文では国際自然保護連合(IUCM)が絶滅危惧種の動物についてまとめたレッドリストから、多くの動物が絶滅の危機に瀕していることを学ぶ。特に、日本のトキ、コンゴ民主共和国のゴリラについて学ぶことで、何が原因となり絶滅に瀕しているのかについて理解を深めさせることができる。また、SDGsの重要性が注目されている中で、環境問題を自分にとって身近なものとして捉える機会となることも期待される。

言語材料としては〈 It is …+(for 人など) + to 〉の文、〈 want + (人など) + to 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を扱う。〈 It is …+(for 人など) + to 〉を用いて、自分の主張を述べ、〈 want + (人など) + to 動詞の原形 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いて聞き手や読み手に具体的にどのような行動をとることが重要であることを伝えることで、自分の考えを述べたり、相手に提案したりするのに有効な表現力が身に付くと考えられる。

(3) 指導について

本単元では、ALTの情報提供からいろいろな分野で取り上げられる環境問題が世界規模での問題であること、動物園や水族館で見たことのある動物でさえも絶滅の危機に瀕していることなどを知ること、それらの問題を身近なこととして捉えさせたい。また、それらに対する自分の考えを意欲的に表現しようとする姿勢を育てたい。授業では、自分の考えを構成する時間(ONEタイム)、考えたことを共有し学びあう時間(ONEチーム)を機能させ、自分の考えを深めるとともに、自分の考えを周りに伝

える楽しさを味わわせることで苦手意識をなくしていきたい。また、社会的な問題である環境問題について触れることで、環境問題に関心をもたせながら、他教科との関わりを感じさせたい。そして、委員会活動や生徒会活動の中で取り組んでいるSDGsが英語の学習ともつながっていることに気づかせ、ニュース等で耳にするようなことが身近な問題であり、その当事者、解決者の一人が自分であることを実感させたい。

ICTの活用については、タブレットPCで世界中の情報を収集するなどの調べ学習を行うとともに、MetaMojieを利用して考えを共有したり、考えたことをノート形式に残したりできるようにし、絶滅危惧種の動物などの現状やそれに対する自分の考えなどを深めていけるようにしたい。

4 単元の評価規準

知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (主)
<ul style="list-style-type: none"> 〈 It is …+(for 人など) + to 〉の文、〈 want + (人など) + to 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の形、意味・用法を正しく理解している。 〈 It is …+(for 人など) + to 〉の文、〈 want + (人など) + to 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の理解をもとに、自分たちにとって大切なことや誰かにしてほしいことについて伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題と私たちの生活について考えるために、絶滅の恐れのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、現状について調べた情報を適切に整理・活用して自分の考えを書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題と私たちの生活について考えるために絶滅の恐れのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、現状や自分の考えを書いたりしたことを相手に伝えようとしている。

5 単元の指導と評価の計画 (総数 8 本 2 / 8)

重点…重点的に生徒の学習状況を見取る観点
記録…記録に残す評価

時間	学習活動	重点	記録	評価規準と方法
1	<ul style="list-style-type: none"> It is …+(for 人など) + to 動詞の原形を用いた文の形、意味・用法について正しく理解し、それを用いて表現されている絶滅の恐れのある動物について書かれた文章の概要を捉える。 	知 思	○	<ul style="list-style-type: none"> It is …+(for 人など) + to 動詞の原形を用いた文の形、意味・用法について正しく理解している。 絶滅の恐れのある動物についてどのようなことが書かれているか理解している。 <p>[観察・記述・発表]</p>
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのある動物にとって必要なことなどについて自分なりの考えを書いたり伝えたりする。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> It is …+(for 人など) + to 動詞の原形を使って、絶滅の恐れのある動物にはどんなことが大切または必要なかを話したり書いたりしている。 <p>[観察・記述]</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 〈 want + (人など) + to 〉を用いた文の形・意味・用法を正しく理解する。 絶滅の恐れのある動物などについて書かれた文章読んで内容を理解し、誰かにしてほしいことを伝え合う。 	知 主		<ul style="list-style-type: none"> 〈 want + (人など) + to 〉や〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の形、意味・用法を正しく理解している。 絶滅の恐れのある動物などについて書かれた文章を読んで内容を理解し、誰かにしてほしいことを伝え合っている。 <p>[観察・記述・発表]</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の形・意味・用法を正しく理解する。 	知	○	<ul style="list-style-type: none"> 〈 let [help] + (人など) + 動詞の原形 〉を用いた文の形、意味・用法を正しく理解している。 <p>[発表・記述]</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の危機にあるトキについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり自分の考えを書いたりする。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのあるトキに起きたことや現状を読み取ったり、環境問題について考えたことを書いたりしている。 <p>[観察・発表・記述]</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのあるゴリラについて書かれた文章を読んで概要を捉える。 	思		<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのあるゴリラについて書かれた文章を読んで概要を捉えている。 <p>[発言・記述]</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのあるゴリラについて書かれた文章を読んで、環境と私たちの生活について考える。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> 環境と私たちの生活について考えるために絶滅の恐れのあるゴリラについて書かれた文章を読んで自分の考えを書いている。 <p>[観察・発表・記述]</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのある動物を守るために現状と自分の意見や考えを整理して簡単な語句や文を用いて記事を書く。 これまで記録してきたことを生かしながら簡単な語句や文を用いて記事を書いている。 	思 主	○	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れのある動物を守るために、現状と自分の意見や考えを整理して簡単な語句や文を用いて記事を書いている。 これまで記録してきたことを生かしながら、簡単な語句や英文を用いて記事を書こうとしている。 <p>[観察・記述]</p>

6 本時の計画（本時2／8）

（1）ねらい

It is ...+(for 人など) + to 動詞の原形を使って絶滅の恐れのある動物にとって、何が重要なのかについて自分の考えも合わせて述べるができる。

（2）学習過程

段階	学 習 活 動	形態	○指導上の留意点 【評価の観点】（方法）◎つまずきと手立て	
			JTE	ALT
導入 7分	1 Greeting and warm-up	全体	○最初のページに掲載されている動物について簡単なクイズをする。	○ICTを活用し、画像を用いながらクイズを出す。
	Today's goal 絶滅の恐れのある動物が生き残るために何を必要としているのか自分の考えを伝えよう。			
展開 38分	2 レッドリストに載っている動物に関連する環境問題について共有する。	全体	○ALTの説明を復唱しながら環境問題に関する語を提示する。	○分かりやすい説明で環境問題について説明する。
	3 自分が調べる動物を決める。	個	○MetaMoji に興味のある動物を入力させ共有する。	○机間指導をして生徒に声をかける。
	4 インターネットで検索をして、選んだ動物についての情報を収集し、メモをする。	個	○情報収集が進むように机間指導をする。	
	5 自分の考えを述べる上での参考となるモデル文に沿って自分の考えをMetaMojiにまとめる。 (ONEタイム)	個	◎語句や文を用いて表現できない生徒には、自分の考えをまとめる上で参考になるモデル文を示すことで、簡単な語句や文を用いて表現をできるようにする。	
	6 グループで中間発表をする。 (ONEチーム)	グループ	○参考になる表現を見つけたり、文法の間違いがなにか確認したりするようアドバイスする。	○机間指導をして悩んでいる生徒に声をかけ、環境問題に触れながらアドバイスする。
	7 中間発表を通して参考になったことや気付いたことを基に、英文を修正したり付け加えたりする。	個	It is ...+(for 人など) + to 動詞の原形を使って、絶滅の恐れのある動物にはどんなことが大切または重要なのかを話したり書いたりしている。 【思考・判断・表現】（観察・記述）	
	8 同じ動物を選んだ人たちの小グループで自分の考えを発表し合い、数人の考えを全体で共有する。	グループ ↓ 全体		
	It's important for polar bears to live in the cold place. But the ice is melting. I think we have to stop global warming.			
終末 5分	9 授業を振り返る。	個	○MetaMoji のノートに分かったことや新たな考えを残し、それらを積み重ねながらUnitのまとめに生かすことを確認する。	○生徒を称揚することで伝わっていることを示す。